

第22回豪州・NZ 親善演奏旅行記念演奏会への参加報告

日時：2024年9月8日(日) 14:00~16:00

場所：音楽の友ホール(神楽坂、224席)

演奏：男声合唱団コールファーマー (24名)

指揮：升本 弘 (コールファーマー創業者)

伴奏：湯山優子 (1988年より専属のピアニスト)

プログラム

1. ドイツの歌：放浪、ゴンドラを漕ぐ人、野ばらなど7曲
2. ピアノソロ：朝のあいさつ、夢のあとに
3. 日本の歌：泉のほとり、夏の思い出、里の秋など7曲
4. 世界の歌：ポカレカレ・アナ、グリーンスリーブなど7曲

9月8日、男声合唱団コールファーマーの演奏会が「音楽の友ホール(神楽坂)」で開催され、日本ニュージーランド協会よりメンバー6人にて、当会の会員でもありコールファーマーの一員(トップテナー)である大王和広さん(写真の前列左より二番目)の応援もかねて聴きに行ってきました。

参加メンバー：生沼、岡、片山、神谷、佐藤、水野、山崎(敬称略・アイウエオ順)

コールファーマー(以下CF)については、文末の[注1](#)をご参照下さい。

コンサート開始に先立ち、指揮者の升本弘氏より、

- ・ 新型コロナ流行の影響でしばらく親善演奏旅行を休止していましたが、6年ぶりの活動再開に向けて、そのブランクを埋めるべく毎週土日の合宿によりハードな練習を重ねてきたこと。
- ・ 10月1日~14日の演奏旅行では、ニュージーランドのネルソン、フェザーストン、タウランガ、豪州のロベサル、カウラを訪問し当地の合唱団と交流を予定していること。

など、今回の演奏会に向けた練習の苦勞や親善演奏旅行についてのお話がありました。



男声24名による四部合唱が始まると、まるで100人の合唱団に思えるほどエネルギッシュな歌声が会場いっぱいに響き渡り、「放浪」(Wanderschaft, 作詞:W.Muller, 作曲:C.F.Zoller)から始まったドイツの歌7曲、「里の秋」など日本の抒情歌7曲が演奏された後、15分の休憩に入りました。

休憩直後には、1988 年より CF の専属ピアニストとして伴奏を担当されておられる湯山優子先生によるピアノソロ「朝のあいさつ」「夢のあとに」が、選曲に寄せる思いと共に披露されました。

さらに合唱の第二部開始に先立ち、ふたたび指揮者の升本弘氏よりお話があり、

- ・ 訪問地の一つであるフェザーストンにおいて第二次世界大戦中に起こった過去の悲しい出来事への慰霊と平和への祈りを込めて設けられた公園に桜並木が植えられたこと
 - ・ その桜並木は、コールファーマーの発案で「さくらガーデン」と名付けられたこと
- などを熱く語っておられました。(これらの逸話については文末の[注3](#)をご参照下さい)

合唱の第二部「世界の歌」は、ニュージーランド民謡「ポカレカレ・アナ」で始まり、スコットランド民謡「Greensleeves」、「仰げば尊し」の原曲「Song for the Close of School」([注4.](#)) など7 曲が披露されました。演奏終了後は、力を出し切ってクタクタになっている全団員の姿を見て、聴衆の誰もが惜しめない拍手を送り続けて閉幕となりました。

日本ニュージーランド協会では、以前にフェザーストン事件に関する講演会を開催したほか、コールファーマーによる豪州・ニュージーランドへの親善演奏旅行についての報告会などを行っています。

コールファーマーの長年に渡る活動は、不幸な歴史を乗り越え、日本と豪州・ニュージーランドの平和と友好の架け橋となっています。

演奏旅行の成功とコールファーマーのますますのご活躍を祈念致します。

文責 理事 佐藤松雄

注1. コールファーマー(CF)について：([コールファーマーのホームページ](#)より)

1967 年東京農業大学男声合唱団として常任指揮者の升本弘先生により創立。のちに、より活動範囲を広げる為に、OB も含めた一般合唱団として大学組織から独立。本年(2017 年)に創立 50 周年を迎える。当初より海外に目を向け、音楽を媒体に親善の輪を広げるべく地道な活動を行っている。創立 10 年目の 1977 年、第 1 回オーストラリア演奏旅行を挙行し、1981 年よりニュージーランドへも訪問を始める。隔年毎に挙行し、2016 年夏には第 20 回目の親善演奏旅行を挙行した。独自の活動から、国内外で注目を集めている。

注2. 国立競技場における日本・ニュージーランド両国の国歌合唱

2022 年には、国立競技場で行われた日本対ニュージーランドのラグビーテストマッチの開会式において [日本・ニュージーランド両国の国歌を合唱](#) 披露しました。

注3. フェザーストンの「さくらガーデン」について：

([New Zealand History 「Featherston Camp memorials and Sakura Garden」](#) より)

第二次大戦中に日本人捕虜収容所が置かれていたフェザーストンにおいて、1942 年 2 月 25 日に起きたトラブルにより命を 9 落した 48 名の日本兵の永年追悼を記念して 1986 年に記念公園が設けられた。2000 年よりこの地でコールファーマーが 2 年毎の親善演奏会を展開したことをきっかけに、墓標に代わる桜の木 68 本が植えられた平和公園が 2002 年に正式オープンされました。その後もコールファーマーが親善演奏会を 2 年置きに繰り返す中で、「さくらガーデン」を平和公園の名称として提案し、2016 年に正式に改名されるに至りました。

注4. 「仰げば尊し」の原曲について：([ウィキペディア「仰げば尊し」](#)より)

日本の唱歌として 1884 年(明治 17 年)に発表された一方で、長い間作者不詳の謎の曲とされていましたが、2011 年 1 月に一橋大学名誉教授の桜井雅人により、その原曲と思われる「Song for the Close of School」が 1871 年に米国で出版された歌集に乗せられていたことが判明しました。